

宇佐市民図書館だより

みんと

第166号

2012年12月1日発行

宇佐市民図書館 本館

〒879-0453 大分県宇佐市大字上田 1017-1

TEL.0978-33-4600 / FAX.0978-33-4679

<http://www.usa-public-library.jp/>

安心院分館

TEL.0978-44-1111(支所) / FAX.0978-44-2181

院内分館

TEL.0978-42-5111(支所) / FAX.0978-42-5115

シリーズ 賀来飛霞の世界⑧ ミストウノ



- クリスマス特集
- 第1回・図書館協議会を開催
- 特別掲載・森敦生誕百年記念講演会
- 「森敦との時間」の森富子さん
- 『双葉山図録』を販売開始!
- 「横光利一と森敦」展②を開催中
- 12月の月間カレンダー

4
8 6 6 5 3 2

よむそう

絵本の力

日ごとに寒さが増していますが、体調管理は大丈夫でしょうか? 風邪予防のため、こまめに、うがい・手洗いを行いましょう▼最近、絵本から元気をもらおうような気がしています。一般書とは違う力があります。私のおすすめの絵本は、『でんせつのきよだいあんまんをはこべ』です。ある日、アリたちの巣の近くに巨大な「あんまん」が空から降ってきます。食糧確保のため、そのあんまんをどうにかして巣まで運ばねばなりません。運搬方法を吟味するなかで、アリたちの先祖がかつて、その巨大プロジェクトに挑んだ歴史があることがわかり、運搬方法を発見しました。運搬を開始し、幾多の困難を乗り越え、ついにあんまんを巣に運び入れることに成功するというストーリーです。力を合わせるこの意味、歴史・記録の重要性を改めて考えさせられます▼また、絵本に描かれている絵には「エネルギー」が存在していると感じます。私なりの絵本の読み方として、内容を読む前に絵を「観る」ようにしています。じっくり観ていると、おだやかな気持ちになり、心が活性化してきます。それから内容を読むと深く染み込んできます▼図書館には様々な絵本があります。大人の方も、ときには絵本に触れてパワーをもらいませんか。皆様のご利用をお待ちしております。

絵本で元気に!

宇佐市民図書館

12 月に入り、図書館ではクリスマスに因んだ本やディスプレイをしています。

今年は新聞書架の近くで、いつもは書庫に置いていたしかけ絵本



を並べています。館内でご覧いただけます。

分館や移動図書館でもいつもと少し違う飾り付けをしています。

こどもスペースの入口のツリーや窓に飾りつけをし、外から見える絵本展示架には、クリスマスにちなんだ本が並びます。毎年とても人気がある展示です。

夕方から夜は、館内やクリスマスツリーの明かりで幻想的な雰囲気になります。



忙しい時期ですが、いつもと違う図書館で、いつもとは違った本に出会ってみませんか？

落語を聞いて過ごす年の瀬

十一代目桂文治師匠の資料を揃えています



◎『落語のひみつ』

案内人 桂 平治 大友 浩 著
阿部伸二 絵 (芸術新聞社 刊)

◎『東京かわら版』 平成 24 年 10 月号

(東京かわら版 刊)

◎『えほん寄席』愉快痛快・満員御礼の巻

(小学館 刊)

◎CD桂文治名演集 1～3

◎CD桂平治名演集 1～6

(ポニーキャニオン)

◎DVDえほん寄席 (館内視聴のみ)

愉快痛快・満員御礼・抱腹絶倒・奇想天外の巻

(NHKエデュケーショナル)

分館にも置いてあります。ご利用ください。

こどもスペースだより 160

冬らしくなってきました。

今月の絵本展示架は特集「楽しみなクリスマス」。クリスマスの絵本や物語をたくさんあつめています。

特集展示架は「来年の干支・へび」です。

お手紙ありがとう

いつも本をかりて、返してくれてありがとうございます

図書館から

いつも本をかりて、返してくれて、ありがとうございます。

好きな本を探す中で、あなたにとって必要な情報を探す力と、本をきちんと返す習慣を身に付けた大人になつてもらいたいと思います。

図書館がその力を育む場でありたいと願っています。

第1回 宇佐市民図書館協議会を開催

十一月二十日、今年度の第1回宇佐市民図書館協議会が開催されました。中原徹二前会長の退任にともない、佐藤修水さんが新会長に選出され、新会長の進行で今後の図書館運営に関する活発な議論が出されました。

図書館からは、今年度のこれまでの事業報告をしました。



活発な議論が続く図書館協議会のようす

院内分館のリニューアルほか

新年度より、院内分館がリニューアル開館するのにもない、土日祝日を開館するなど、開館日と開館時間を本館同様とする予定であることや、「第二次子ども読書推進計画」の発行などを報告。委員のみなさんからは、本の貸出だけでなく、多彩な図書館行事を展開していることは喜ばしいが、資料費の大半を寄付金に依存し続けたままでよいのかという問題点が提出されました。今後の課題としたいと思います。

津崎恵二さんの朗読会



宮沢賢治作品を朗読

九十歳を迎えてますますハツラツとされている元俳優の津崎恵二さんによる、宮沢賢治作品朗読会が行われました。視聴覚ホールを埋め尽くした聴衆のみなさんは、ラジオドラマさながらの熱のこもった「セロ弾きのゴーシュ」や、詩「永訣の朝」の悲しみの世界に浸っていました。(十一月十日)

郷土スペース通信一六四

『東京かわら版』平24・10

(東京かわら版・2012)



今年九月に十一代目桂文治を襲名した、もと桂平治さん。大名跡を継いでますます好調です。

宇佐市院内町出身で、このほど宇佐市民榮譽賞を受賞したほか、宇佐市観光大使をつとめたり、落語会で宇佐文化会館を満員にしたりと、故郷での活躍ぶりも連日のように報じられています。

本誌は「日本で唯一の演芸専門誌」と銘打ち、落語、講談、浪曲などの演芸会情報、寄席情報、テレビ・ラジオの演芸番組情報などを発信。十月号の表紙と巻頭インタビューは、われらが桂文治師匠。故郷の話、家族の話もでています。

活字でも笑わせてくれます。

こころざしは望洋に

「森敦との時間」の 森 富子さん (森敦養女・作家)

横光利一に認められ、若くしてデビューしながらも、その後、創作に苦しみ、放浪をつづけた森敦。横光利一への想いや芥川賞受賞作「月山」執筆の苦労などを、養女で作家の森富子さん(藤沢市在住)に語っていただきました。その一部を紹介します。
11月17日(土) 宇佐市民図書館 視聴覚ホールで。※本稿は講演の一部を編集部で再構成したものです。

特別掲載・森敦生誕百年記念講演「森敦との時間」の森富子さん(森敦養女・作家)

横光さんは大恩の人

森敦にとって、横光さんは大恩の人です。人生のなかで一番恩をいただいたと思うています。

横光さんとの出会いといいますと、戦前の話ですが、京城(いまのソウル)で文芸講演会がありました。そこに菊池寛さんと横光さんが講師でいらつしやいました。その講演会を聞いたあと、森敦が何か生意気なことをいったそうです。

それで、「上京したらうちにいらつしやい」と誘われ、翌年、旧制一高



に合格し、東京に住むことになりましたので、さっそく菊池さんの家へ伺うと、着物を着た菊池さんが兵児帯を引きずりながら現れて、袖からお金を出して「きみ、がんばりたまえ」と、行くと必ずお小遣いをくださったそうです。

当時森敦は、ランボーとかジョイスとかジツドとか、西洋のいろいろな試みをする作家たちの作品を読み、小説の構造について考えていたとい

います。
横光さんにそのこと話すと、横光さんも実験的な作品を書く人でしたので、森敦の話に大変興味をもったようです。それですごかわいがられて、「それじゃ鰻を食べに行こう」と、しょっちゅうご馳走になっていたそうです。横光さんは当時「機械」「悪魔」「時間」といった新しい作風の作品が評判になっていましたが、これらの作品には森敦の影響もあるといわれています。ところが翌年、森敦はせつかく入った一高を中退するわけです。「せつかく入ったのになぜやめるのか」と母親が責めると、「ぼくはこころざしがあるからやめるんだ」といったそうです。おそらく、小説を書くという意味だったろうと思います。

昭和八年、二十二歳の若さで森敦は横光さんに推薦され「酔酩船」を新聞連載してデビューし、横光さん夫妻に結婚式の仲人までしてもらいながら、その後は期待に応えられず、作品が書けなくなっていました。やがて横光さんが亡くなり、菊池さんも亡くなり、森敦は文学へのこころざしを抱きながらも四十年間の放浪生活を送ることになります。

檀一雄の無言の励まし

「月山」は注連寺というお寺に一年間滞在した体験を小説にしたものですが、そもそも森敦が何年に注連寺にいったのかもはじめはよくわかりませんでした。村人たちの思い出話をつなぎあわせると、三十九歳のころだということがわかってきました。その二十年後に「月山」を書いたのです。二十年間心に温めていたともいえますが、なかなか文章にはなりませんでした。

ある日、森敦が東京に出て来たという情報が檀一雄さんに伝わり、誘いを受け石神井の家に行くと、応接間に大きな音でレコードが流れていたそうです。チャイコフスキーの「ア

ンダンテ・カンタービレ」。この曲は、若き日に森敦が新聞連載した「酩酊船」のモチーフのひとつだったのです。当時、森敦は、檀一雄、太宰治とともに緋三人組と呼ばれていました。だから、檀さんは昔のことを覚えていて、森敦に書く気を起こさせたかったのです。そのとき、レコードを何回も買いに行かされたのが、娘の檀ふみさんです。

檀一雄さんの気持ちは、言葉に出さなくても森敦にはわかっていているわけです。「きみ書きたまえ」というわけですね。それで、いよいよ書き始めたわけですから、檀一雄さんも森敦にとっては恩人の一人です。

「森さんが生きていた！」

そのころ、同人雑誌に載った「光陰」という小説が渡辺哲彦さん（当時、東京新聞社学芸部長）の目にとまり、「森さんが生きているのなら絶対に小説を書かせるべきだ」と、『季刊藝術』の編集長だった作家の古山高麗雄さんに進言しました。それで古山さんは森敦を銀座のレストランに招いて説得したわけですね。そのときの森敦の答えが奮っています。「古山さんを喜ばせる小説を書きま

す！」と宣言したのです。

ところが、半年過ぎても原稿を渡す気配がありません。古山さんが痺れを切らして、「森さん、書いたところまででいいから読ませてほしい」といつてきました。

悪戦苦闘の日々

森敦は悪戦苦闘を続けていました。早朝、電車のなかで下書きした原稿を家で清書するわけですが、書いては捨て、書いては捨てていました。捨ててばかりいるから、私はこっそり全部拾い上げて保存しておきました。それは、森敦がどんなふうに書き直していったのか、その過程を知りたいと思ったからです。私も小説を書きたかった人間ですから、比べることによって勉強になると思っただけですね。

そのさなかにも図を描きながら月山の不思議さをよく語っておりました。注連寺は月山にあるお寺なのですが、その注連寺から月山が見える。「不思議なところなんだよ、あの不思議な地形を書きたいんだ」といつておりました。月山という山は大きな世界ですが、注連寺もまた小さな世界です。それが「内部と外部、境

界線」の思想になるわけで、そんなことを聞きながら、どんな作品になるのかと楽しみにしておりましたが、遅々として進みませんでした。

清書係を買って出る

「途中まで読んでもらうより、書きあげて全体を読んでもらうべきです。私が手伝ってあげる」といつて、後半部分の清書係を買って出ることになりました。

そのうちに私が清書しているとこころへ源助のじさまのくだりがでてきました。それは、源助のじさまの牝牛に盛りがついて牝牛の種をつけなければいけないというので、じさまが山から降り、吹き（吹雪）のなかを種を抱えて牝牛のところへゆく場面です。文庫でたった一ページほどの分量ですが、光景の描写といい、吹きを清書しながら、まったく森敦と同じだと思いました。吹きのなかを歩く源助の姿と、森敦の小説を書く姿が私には重なってしまっただけですね。その場面に胸が締め付けられて、本当に感動しました。涙がぽとりとテーブルの上に落ちたところへ森敦が続きの原稿をもって入って

きました。

一人を感動させれば

「そんなにいい作品かい？」というので、「私ひとりを感じさせたなら、それで満足すべきだ！」と思わずテーブルを叩いて、私は啖呵を切りましました。「私のような人が世の中にはきつといるにちがいない」と。

それからというものの、私の清書が追いつかないくらい速いペースで森敦は後半を書き継ぎ、一週間ほどで作品は完成しました。しかしその原稿を古山さんに渡すときにも森敦はまだ「書き直したい」といつて続けておりました。古山さんはたちまち原稿を読みあげて、「これでいいじゃないか」と論しました。

こうして「月山」は芥川賞を受賞し、森敦も六十二歳の新人作家としてふたたび世で注目されるようになりました。

書き直しを繰り返しながら悪戦苦闘して小説を書き、完成後もなお手を入れようとする姿も横光さんゆずりだったのかなと、「月山」執筆の日々を思い出しております。

特別掲載・森敦生誕百年記念講演「森敦との時間」の森富子さん（森敦養女・作家）

森敦が昭和8年に横光利一と一緒に写した写真で身に着けていた着物一式を、養女の富子さんからお借りして展示しています。八十年前の晴れ姿、お見逃しなく！



森敦生誕百年記念「横光利一と森敦」展②
2F 渡網記念ギャラリー 十二月二十八日(金)まで開催中！

『双葉山図録』販売決定！



双葉山生誕百年を記念して、当館が発行した『双葉山図録』の改訂版を販売することになりました。お問い合わせは、宇佐市民図書館または宇佐市観光まちづくり課まで。(2000円)

知ると楽しい図書館のミカタ
『SHIMADAS』

日本の国土はこの「島」でできています。一年間を振り返ると、これほど島が話題になった年はないのでは、と思います。では、「島」とは何でしょう。

日本の島ガイド『SHIMADAS』には様々な疑問に答えてくれるページがあります。まず80Pに「島とは何か」。海洋法に関する国際連合条約(国連海洋法条約)では「自然に形成された陸地であって、水に囲まれ、高潮時においても水面上にあるものを」と規定されています。90Pは「島の数」で6,852。この島数は戦後だけでも数が変わっています。昭和21年の調査では1,025。沖縄の復帰で3,922。それから現在まで、三千近く増加しているのはなぜでしょう？ その変遷も掲載されているのがユニークです。

ヤングコーナーレビュー 99

◆◆新着本から◆◆

『魚のいない世界』

マーク・カーランスキー 著 飛鳥新社

捕鯨に続きマグロ漁の規制が話題になったのは数年前の話だ。こうした話が出る背景には、魚の乱獲による数の減少がある。この本では世界の海から魚が消えていくマンガを合間に挟みつつ、魚と海と漁の問題を書いている。ここに書かれる警告は、読む者をドキリとさせる。そしてマンガの最後、とある少女の言葉を貴方はどう感じるだろうか？

◆◆その他の新着本から◆◆

『14歳からわかる生活保護』
『しずくちゃん19』『もしもし★TOKYO』『目指せ！ライトノベル作家超ガイド』『さか上がり』を英語で言えますか？『靈感少女リサ』
『楔形文字をよむ』『甲子園球児のピッチング&バッティング2011』
『世界史図鑑みんなが知らない歴史の秘密』『ベン・トール9・5』
『ソードアート・オンラインプロダクション1』『新約とある魔術の禁書目録5』

ご意見から

●新刊書について

新刊コーナーにある本は、難解な本が目立つが、よみやすい本を多く置いてほしい。新たに入手する本は難しい本ばかりではないと思うがどうですか。(匿名)

【図書館から】

資料の収集においては「宇佐市民図書館資料収集方針」に基づき多様な資料を集めております。利用者ニ

ーズの分析、社会的動向に注視しながら「選書会議」において収集資料を確定しております。

新刊コーナーは特に利用者の注目度が高いコーナーであり、よみやすい資料をはじめ専門的な資料も紹介しております。なかでも、よみやすい資料は展示と同時に貸出されてしまいう確率が高く、どうしても難解な資料が残る傾向にあります。

「新着資料リスト」も同コーナーにありますので、参考にお願ひします。

12月の健康情報コーナー



本館11月の特集展示(過去分)

【一般】

「祝 十一代桂文治襲名」

「宮沢賢治」

「森敦生誕百年」

【こども】

「ちよつと寒い国のこと」

「宮沢賢治」

12月のヤング特集

「本の本」

12月の安心院分館ミニ展示

「12月といえば……」

寄贈していただいた方

(10月分・敬称略)

全日本社会貢献団体機構、財団法人国土地理協会、北斗七星、国東市歴史体験学習館、小田原真由美、山形県、JICA、公益財団法人日本交通公社、株式会社為替どつとコム、学研パブリッシング、賀来英司、多米啓司、日本新薬株式会社、坂内啓二、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、サイエントロジー東京、阿部太智、楠美紀子、日田市立淡窓図書館、河野一吉、福岡県教育庁総務部文化財保護係、

12月のミニ展示

東側(一番奥の0の棚)から順番に照会しています

窓側

- ・都道府県の常識
- ・ダライ・ラマ
- ・戦国時代
- ・北欧の歴史
- ・スパイを知る
- ・考えよう防災
- ・むかしの生活
- ・人間の不思議
- ・方言
- ・作家・松本清張
- ・日記・手紙集
- ・リリアン・J・ブラウン
- ・志水辰夫
- ・諸田玲子
- ・東海林さだお

通路側

- ・自分の好きなところをみつめよう
- ・歎異抄
- ・歴史ミステリー
- ・暖い国へ
- ・手づくりこもの
- ・年末に向けて
- ・仏像の魅力
- ・伝統芸能
- ・アトピーが気になる!
- ・ポケットにはいる手記
- ・源氏物語を読む
- ・海外のSF
- ・白石一文
- ・東京物語
- ・さまざまな愛のかたち



12月の宇佐市民図書館 本館

1	土	アニメ「まんが日本昔ばなし」24 14:00～14:50
2	日	絵便り教室 13:30～16:00 映画「八甲田山」 14:00～16:50
3	月	休 館 日
4	火	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
5	水	ほんの森号 ①北馬城小 ②宇佐小 ③渚団地
6	木	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
7	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小 県立図書館
8	土	おはなし会 図書館職員 11:00～11:30 アニメ「母をたずねて三千里」7 14:00～15:40
9	日	映画「椿姫」(アメリカ:字幕) 14:00～15:49
10	月	休 館 日
11	火	近世文書を読む会 14:00～16:00 ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公民館
12	水	ほんの森号 ①糸口小 ②豊川小 ③四日市コミュニティ
13	木	おはなし会 「おはなしあかね」 11:00～11:30 ほんの夢号 ①佐田小 ②津房小
14	金	本の夢号 ①南院内小 ②院内中部小 県立図書館
15	土	第9回宇佐市読書感想文・感想画コンクール表彰式 10:30～12:00 同コンクール入選作品展 1月14日まで アニメ「ペリーヌ物語」11 14:00～16:09
16	日	市民図書館友の会朗読会 10:00～12:00 絵便り教室 13:30～16:00 映画「THE有頂天ホテル」 14:00～16:16
17	月	休 館 日
18	火	中世文書を読む会 14:00～16:00 本の夢号 ①安心院小 ②院内北部小
19	水	おはなし会 「たまたまこ」 11:00～11:30 ほんの夢号 ①福貴野分校 ②深見小
20	木	休 館 日(月末図書整理日)
21	金	駅館高齢者学級社会見学 10:10～11:45 ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
22	土	アニメ「星の王子さま」6 14:00～15:41 続・横光利一を読む会 14:00～16:00 県立図書館
23	日	映画「ロミオとジュリエット」(英・伊合作:字幕) 14:00～16:18
24	月	休日開館日 アニメ「劇場版 トムとジェリーの大冒険」 14:00～15:23
25	火	休 館 日
26	水	休 館 日
27	木	ほんの森号 ①北馬城小 ②宇佐小 ③渚団地 県立図書館
28	金	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
29	土	年 末 休 館 日
30	日	年 末 休 館 日
31	月	年 末 休 館 日

ほんの森号の時間帯

①10:20～11:00 ②13:00～13:40 ③15:20～16:00

ほんの夢号の時間帯

①10:20～10:50 ②11:20～11:40(上院内分校) ③13:00～13:40



おはなし会

8日(土) 図書館職員 13日(木) おはなしあかね
19日(水) たまたまこ
11:00～11:30 おはなしのへや

渡網記念ギャラリー

「横光利一と森敦」展②
開催中～12月28日(金)

エントランス 展示
第9回宇佐市読書感想文・感想画
コンクール入賞作品展
12月15日(土)～1月14日(月)

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書 12月11日(火)

★中世文書 12月18日(火)

※いずれも 14:00～15:30

続・横光利一を読む会

「旅愁」を読む 158

12月22日(土) 14:00～16:00

■上■映■会■

上映は14:00からです。

1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)

◆子ども向け(アニメ・ビデオ)

1日(土)「まんが日本昔ばなし」24
にせ本草、きつね女房 50分8日(土)「母をたずねて三千里」7
100分

15日(土)「ペリーヌ物語」11 129分

22日(土)「星の王子さま」6 101分

24日(月)「トムとジェリーの大冒険」
83分

◆一般向け(映画)

2日(日)「八甲田山」

(日本) 120分 1977年

出演:高倉健、北大路欣也ほか

9日(日)「椿姫」(アメリカ:字幕)

155分 1991年

出演:グレッタ・ガルボ、ロバート・タイラー

16日(日)「THE有頂天ホテル」

(日本) 136分 2006年

出演:役所広司、松たか子、

23日(日)「ロミオとジュリエット」(字幕)

(英・伊合作) 138分 1968年

出演:オリヴィア・ハッセーほか

新年は、1月5日(土)から開館します。